

加古川市障害者自立支援協議会専門部会

加古川市障害者自立支援協議会専門部会 事務局

(加古川市障がい者基幹相談支援センター)

各専門部会の令和6年度の活動報告と令和7年度の活動方針

【くらし・こども専門部会】

□ くらし部会 開催：6回

令和6年度の取り組みの確認と令和7年度の方針について協議した。

また、「交流」をテーマに関係機関の連携強化を図るため、開催期間を短く設定した2回の「事業所交流会」の企画・開催を行った。

① グループホームサポートシートの更新

- ・令和5年度に完成したグループホームサポートシートを更新した。

② 令和6年度「第1回事業所交流会」の開催

- ・日 時：令和6年12月3日（火） 13：30～15：30
- ・内 容：ワールドカフェ風グループディスカッションを通して支援者間の「交流」を図る
- ・参加者：24名 くらしを支える支援者（市内の施設入所、短期入所、共同生活援助、ホームヘルパー、計画相談、生活介護、訪問看護 等）

③ 令和6年度「第2回事業所交流会」の開催

- ・日 時：令和7年2月14日（金） 13：30～15：30
- ・内 容：ワールドカフェ風グループディスカッションを通して支援者間の「交流」を図る
- ・参加者：12名 くらしを支える支援者（市内の施設入所、短期入所、共同生活援助、ホームヘルパー、計画相談、生活介護、訪問看護 等）

④ 映画上映会の開催について協議

- ・“くらし”を支える部会としてあらためて一般市民も対象とした「障がいのある人たちが身近な地域の中で生活している」ことを意識してもらうことを目的とした企画を検討した。

【令和7年度の活動方針】

かねてより検討を続けてきた一般市民も対象とした映画上映会の開催を通して、地域で生活している障がい者の実状や課題の理解促進に取り組む。

また、事業所交流会の開催も継続し、暮らしを支える支援者間の連携強化も合わせて取り組む。

部会員においては、“暮らし”を支えるために密接な連携が必要とされる医療機関（訪問看護等）の関係者にも部会の参加を打診する予定。

『梅切らぬバカ』映画上映会

- ・日 時：令和7年10月23日（木） 13：00～15：00
- ・場 所：SHOWA グループ市民会館小ホール
- ・内 容：上映会『梅切らぬバカ』と情報共有（仮）

□ こども部会 開催：4回

コロナ禍前から計画していた、支援者間の横のつながりを作り顔の見える関係性を築くことを目的とした事業所交流会の開催について協議を進めた。

また交流会の効果を高めるために障がい児に係る支援者へ、療育並びに支援の視点を提供する講演『こども時代に経験しておきたいこと ～おとなになった時を見据えて～』を併せて企画し実施した。

① 令和6年度「事業所交流会」の開催

- ・日 時：令和7年2月25日（火） 10：00～12：00
- ・内 容：i）講演『こども時代に経験しておきたいこと ～おとなになった時を見据えて～』
講師『相談支援事業所 ぱっそ・あ・ぱっそ』 濱 亜紀子さん
ii）意見交換会
- ・参加者：50名 市内の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、相談支援事業所で直接支援にあたっている職員

■ こども支援ワーキング 開催：1回

- ① 福祉、教育、保健、当事者団体等で構成し、児童期に係る専門機関の情報を集約したサポートシート『にじのわか～ちょっと気になる子どもの歩み応援シート～』の内容確認と配付先の協議等を行った。

【令和7年度の活動方針】

令和6年度末に開催した事業所交流会の振り返りを行い、今後の障がい児に関わる支援者間の更なる連携強化と支援の質の向上を目的とした事業所交流会の企画検討を継続していく。

また、令和6年5月に開催した第1回目の部会において、各部会員から実状を報告してもらい共有に至ったため、今後はそこから協議に発展させていく予定。

【しごと・差別解消専門部会】

□ しごと部会 開催：8回

前年度の意見交換会におけるアンケート集約をもとに、今年度の取り組みを協議し企画を行った。

① 令和6年度「事業所意見交換会」の開催

- ・日 時：令和6年8月22日（木） 13：30～16：00
- ・内 容：ワールドカフェ風グループディスカッションを通して顔の見える関係をつくる
- ・参加者：43名 就労継続支援A・B型、生活介護、就労移行、計画相談、教育・雇用機関 等

② 令和6年度「事例検討会」の開催

- ・日 時：令和7年1月17日（金） 13：30～16：00
- ・内 容：個別の事例を持ち寄り、事例検討を通して地域課題を探す
- ・参加者：27名 就労継続支援A・B型、就労移行、計画相談 等

【令和7年度の活動方針】

例年継続開催している事業所意見交換会は今年度も開催を予定し、事業所間の連携強化を図る。

また、事業所意見交換会を踏まえて、年度後半には「就労選択支援」や「就労支援のステップアップ」をテーマとして、就労支援事業所のスキルアップを図る企画を進める。

□ 差別解消部会 開催：3回

以下の情報共有と協議等を行った。

① 近況の共有と今後の取り組みについて協議

- ・令和6年版障害者白書をもとに改正障害者差別解消法並びに合理的配慮の義務化について共有と現状の意見交換を行った。
- ・兵庫県における合理的配慮アドバイザーの役割と実績について共有した。

② 兵庫大学の障がい学生支援オフィスの剣物氏より「Qるーむ」の取り組み（修学上に関する相談支援、卒業後の進路に関する相談支援、学外機関との連携）等の説明を受け、今後大学内で合理的配慮を要する検討課題があがった場合等の連携について協議した。

③ 加古川市社会福祉協議会権利擁護支援係からの事例を検討した。

【令和7年度の活動方針】

差別解消部会は個別ケースの対応ではなく「相談窓口に関すること」を協議する場として設置しているため、個別ケースごとに差別か否かの判断を行う機関ではないものの、改正障害者差別解消法並びに合理的配慮のあり方や事例の積み上げ等を重ねることで地域課題の抽出と解消に向けた取り組みを進めていく。

【相談支援専門部会】 開催：5回

令和6年度は定例会の開催頻度に関するアンケート結果から概ね3ヶ月に1回に変更し開催した。

またアンケート結果をもとに活動内容を決め、事務局主体の企画運営から部会員（相談支援専門員）が主体となって取り組んでいける体制への変化を図った。また今年も教育と相談支援専門員とのスムーズな連携を目標として「特別支援教育コーディネーターブロック会」への出席等、活動の幅を広げて開催した。

① 定例会の開催

- ・計画相談にかかるさまざまなテーマ（主任相談支援専門員の配置、報酬改定、加古川社協生活支援コーディネーターについて 等）を取り上げ、グループワーク等を通して意見交換を実施した。

② 特別支援教育コーディネーターブロック会への参加

- ・部会員が分かれて各ブロックの会議に参加した。

■ 事業所見学ワーキング 開催：4回

① 『こども療育センター』の見学会

- ・日 時：令和6年11月13日（水） 10：00～12：00
- ・内 容：加古川市立こども療育センターの概要説明、センター内の見学、質疑応答
- ・参加者：13名 市内の相談支援専門員

【令和7年度の活動方針】

昨年度同様に部会員が会の一員として活動できる体制づくりを継続する。

そのため、定例会とは別に引き続きワーキングにおいて見学会や勉強会等を開催できるよう、新しい体制づくりを進めていく。

以上